

## 第27回アジア太平洋地域ユースコンボケーション参加報告書

---

### ワイズメンズクラブ国際協会西日本区



日程：2017年7月19日（水）～7月23日（日）

場所：タイ・チェンマイ YMCA

## 西日本区理事あいさつ

### ワイズの Y は、ユースの Y、あなたのこと

西日本区理事 大野 勉



タイ・チェンマイでの AYC に参加されたみなさん、学び、交わり、創り上げた 5 日間は、人生の大きなイベントの一つとなったことでしょう。

一日一日が思い出作り。思い出を重ねて人生が豊かになります。何気なく過ごす一日も一つの思い出ですが、この大会は、刺激いっぱい重い思い出の毎日だったことでしょう。

10 年前を思い出しています。

同じタイのパヤオセンターでの AYC に、引率として参加しました。

西日本区から 17 名、東日本区から 8 名の参加でした。

引率として役に立つのかと不安はありましたが、空港での待ち時間が長く、荷物番として、少しは役に立ったかなと思います。また、高校生の時に購入したマイギターを持参し、現地にプレゼントしたことも思い出します。現地のリーダーが、「ギターの弾き方を教えて！」と、即席ギター教室も開きました。その時のリーダーが、今、YMCA に関わる仕事をしているということも聞きました。

シャワーといえば、お湯が出そうで出ない、ほとんど水のシャワーでしたが、みんなへっちゃらで、おいしい食事に元気いっぱいでした。学びも交流も深めることができました。

そして、同行した西日本区のユースのうち、現在、ワイズとして西日本区で活躍している人もいます。

今年の AYC 参加のみなさんとは、7 月 23 日(日)の AP ナイトで初めてお会いしました。プログラムがかなり進んで、出番はいつかしら？と、廊下で打ち合わせ、確認をしていました。

私たちワイズメンも、みなさんの出番を今か今かと待ち望んでいたのですよ。

“YMCA (ヤングマン)” の歌・踊りに始まり、それぞれの国の文化をリズムカルに表現し、力を合わせて大きなアートに仕上げていました。

「やっぱり、若い人のパフォーマンスは素晴らしい！」会場のだれもが感じたことでしょう。

みなさんは、ワイズの未来です！ワイズの Y は、あなたたちのことなのです。

この素晴らしい体験を、あわてることなく、自分の中で熟成して将来役立ててください。

みなさんと出会えて、私たちも元気が出ました。ありがとうございました。

## 日程・会場

日程：2017年7月19日（水）～7月23日（日）

場所：At The YMCA of Chiang Mai in Thailand

## 参加者名簿

内村 麗（18）熊本みなみクラブ

木本 朱里（17）熊本にしクラブ

木山 エリイ（17）熊本クラブ

佐古田 ひかり（16）京都ZEROクラブ

報告書編集・内村麗

報告 YMC Aサービス・ユース事業主任 山川新一

## スケジュール

7月19日 開会式  
休憩  
参加者交流  
ウェルカムディナー

7月20日 朝食  
朝の献身  
日帰りツアー  
・環境生活センター見学  
・ランチ  
・学校訪問  
・お寺見学  
・タイの伝統的なレストランでディナー

7月21日 朝食  
朝の献身  
参加者交流  
Session；組織の飛躍エピソード  
休憩

CS 映像  
ランチ  
Session 1 ; 学校訪問の振り返り  
Session 2 ; ユースクラブについて  
休憩  
AYR 選挙  
ナイトパーティーのパフォーマンス練習  
ディナー&文化交流

7月22日 朝食  
朝の献身  
参加者交流  
Session 3 ; ユースの活動  
休憩  
AYC の活動計画  
ランチ  
AYR 選挙  
閉会式  
休憩  
ナイトパーティーの準備  
ナイトパーティー

7月23日 朝食  
AYC レポートプレゼンテーション  
フォーラムレポート  
休憩  
AR レポート  
閉会式



## 参加者感想

内村 麗（熊本みなみクラブ推薦）

私は、今回、ユースコンボケーションに初めて参加しました。私は今年高校を卒業し卒業したあと三か月間フィリピンで英語を勉強していました。今回のユースコンボケーションは堤さんのお誘いで参加させてもらいました。フィリピンを終えてからの参加だったので、フィリピンでどれだけ英語力がついたか自分を試す気持ちで参加しました。今回のユースコンボケーションはアジア圏の国々が集まり国際交流と世界問題について考える5泊7日のものでした。国は、日本、韓国、マレーシア、台湾、タイが参加しました。私たち西日本区からは私を入れ4人が参加し、東日本区から7人計13人日本から参加しました。タイにいる間は多くの貴重な体験をさせてもらいました。YMCA についての話を聞き、たくさんの事を話し合っ、現地の学校を訪問したり、タイの文化に触れ、改めて世界には知らないことがたくさんあるんだなと思いました。

長いようであっという間に終わってしまったコンボケーションを終えて私は、慣れない地で生活して思うことは、毎回誰かに助けられていたということです。まともに英語がしゃべれない私を、理解してくれようとしてくれて、ちゃんと話についていけるか気にしてくれて、みんなとても優しく接してくれました。そのおかげで多くの人と積極的にコミュニケーションを取りに行くことができました。本当に、周りの人たちに恵まれたと思います。ホテルのスタッフとも友達になって本当に楽しく過ごすことができました。また改めて、つたない英語でも自分から積極的にガンガン話しかけることが重要だと思いました。でも、私が英語をもっと話すことができれば多くの話が聞け、その国についての文化やその人ともっと仲良くなれたと思います。

私は、将来海外青年協力隊に参加して畜産を教えに行くのが夢です。今回のユースコンボケーションで人と人のつながりや、助け合いの話を聞いてさらに強く人を手助けできる活動に参加したいと思いました。今回の経験はまた私の人生をよりよいものにしたと思います。本当に参加できてよかったです。私はこれからニュージーランドに行きます。生きた英語を学んで今よりもっと英語をしゃべれるようになって来年行われるユースコンボケーションに参加したいと思います。今回の経験を活かして来年はもっと世界各国の人と交流して多くのことについて話合えるようになりたいと思います。そして自分からリーダーシップをとれるようになり今回よりもっとより良い交流活動ができるようにしたいと思います。



## 木本 朱里（熊本にしクラブ推薦）

英語が出来ない私は行きたくない気持ちでいっぱいでした。周りから「英語できないのに何で行くの？」とかいろんなことを言われました。それでも、いざ行ってみると本当に楽しくて、英語が喋れない分ジェスチャーやカタコトの英語やちょこちょこ日本語を入れて話しているうちに、台湾の人やタイの人たちがだんだんと日本語をわかるようになっていきました！グループでのダンスの練習の時にちょっと怒ったら、私のあだ名が「すごくかわいい若いおばさん」になりました。そこで一気に何かが芽生えて楽しくてまだ終わってほしくない！と思いました。

あとは、最初はプレゼンを聞いても英語だから全然分からなかったけど、グループの中の東日本の2人がメモ帳に日本語で意味を教えてくれたり、グループ学習で班の意見をまとめたものを発表しないといけない時は、私に一つ一つ英語を教えてくれたり、発表の時に横で言ってくれたり、本当に感謝しています。その時改めて、もっと英語の勉強しよう！もっとちゃんと英語が話せるようになりたい！と思いました。こんな風に思えたのはこのアジア大会に参加できたからだと思います。本当に行けてよかったです。

最後のパーティーでみんなでダンスを踊ってたくさん写真撮って夜遊んで、LINE 交換したり沢山友達出来たり本当にいい思い出ができました。最終日は早く帰る人もいて泣き崩れました。泣いているとみんな寄ってきて「大丈夫だよ」「そんなに泣かないで」「また来年会おうね」などいろんなことを言ってくれて慰めてくれました。本当に幸せで楽しい5日間でした。来年も参加出来たら参加して今年よりも沢山友達を作って、英語が話せるようになりたいです。



## 木山 エリイ (熊本クラブ推薦)

私は今回初めて AYC に参加しました。私自身参加するまでは全くと言っていいほど YMCA についても、AYC についても知らず、参加するまでは楽しみと共に大きな不安を抱えていました。AYC が始まって、周りは英語が話せる人ばかりで、あまり積極的に皆の中に入っていけない自分がいました。しかしそんな私を皆は優しく受け入れてくれ、私の拙い英語でもコミュニケーションをとることが出来ました。5つの母国語が違う人々が集まって会話が出来るのを直接見て、英語の大切さを改めて感じました。AYC では Y についての話が多々あり、今までどんな団体なのか知らなかった私は、世界中で多くの人々を救う活動をしていることを知り、大いに驚き、素晴らしい団体だなと感じました。そんな YMCA に関われていることに誇りに思いました。また、グループでの話し合いも多かったのですが、初めは積極的に発言できなかった私にも、優しく分かり易く話を振ってくれたグループのメンバーのおかげでとても有意義なものとなり、Y's Youth として世界に何ができるかしっかり考えることができました。学校を訪ねるという活動では、タイの中学生達との交流をする中で、グループのメンバーとの距離も一気に縮まった気がしました。子ども達とも言葉が通じずとも、沢山会話をして共に身体を動かして楽しい時間を過ごすことができたため、自分の考える事を一生懸命伝え、共に楽しむことで、世界中の人々と繋がり合うことができるということを発見することができました。そして、Cultural Night では、各国とても興味深いプレゼンで、各国の文化に直接触れることができ、好奇心を掻き立てられました。私自身、それぞれの国に行ってみたいと思います。また、各国の人々と交流する中で、日本の英語教育は各国に比べ劣っているように感じたため、将来、そんな日本を変えていけるような人間になりたいと思えました。また、私は幼い頃から海外で仕事がしたいと思っており、日本と海外を繋ぐことが出来るような仕事に就きたいと改めて強く思いました。日が経つにつれて、AYC の参加者達と、一緒にダンスを踊ったり食事をとったりすることで仲が深まりました。その分、最初は不安ばかりで消極的で、話していたのが日本人ばかりになってしまったため、初めから海外の皆ともっと交流をしていればと後悔の念が残ります。今回 AYC に参加させていただいて、自分自身考えさせられることも得たものも、とても大きかったです。そのため、翌年の IYC も是非参加したいと思いました。もし翌年の IYC に参加させていただけることになったら、今回の反省を活かし、よりよいものとなるようにしたいと思います。



## 佐古田 ひかり（京都ZEROクラブ推薦）

コンボケーション一日目、初めに、タイの街並みを見て私が前に住んでいたフィリピンに似ていてすごいなと思いました。AYCのプログラムが始まって、まずAYCとYMCAについてどのような行事やどのような活動をしているのかの説明を聞きました。次に、みんなで輪になって交流し、歌ったり踊ったりしてみんなの緊張を解きました。そのあとは、各自グループに分かれ自己紹介したりナイトパフォーマンスの練習をしました。夜は、ウェルカムパーティーがありました。みんなで楽しい時間を過ごしました。でも、タイの料理はやっぱり辛かったです。

二日目は、私が楽しみにしていたタイの学校に訪問する行事がありました。学校を訪問する前に、エネルギーと環境生活センターで世界が直面している問題や、世界を守るための活動について理解を深めました。次に、学校を訪問して私のグループでは、小学五年生を担当しました。子供たちと一緒に忍者手裏剣ゲームや、動物のジェスチャーゲームなどをして交流しました。初めはどう接すればいいのかわかりませんでしたでしたが、話してみると子供たちは真剣に聞いてくれました。帰る時はみんなで写真を撮りました。子供たちは「ばいばいー！」って叫んでくれました。短い間だったけど一緒に楽しむことができ本当に楽しかったです。次に、タイの有名なお寺を訪問しました。銀の立派なお寺がありました。そのあと、ナイトマーケットに行きました。ナイトマーケットはいろいろな物が売っており、日本に比べて物価が安く見るだけでも楽しめました。夜は、タイ料理の店に行きました。そこでは、タイの伝統的なダンスやパフォーマンスを見ることができました。

三日目は、ホテルでグループディスカッションをしました。話し合いは、学校訪問の振り返りをしました。一番印象に残ったことや、どんなことをして遊んだなどグループごとに発表しました。そして、三日目の夜はカルチャーナイトで私たちは、浴衣と着物の違いについて発表しました。

四日目は、朝からデフォーシヨンの発表をしました。私たちは、過労死と子供食堂の話の説明しました。そのあとも、多くのことについて話し合いました。夜は、ナイトパーティーで、豪華な夜を過ごしました。みんなで踊ったりして思い出に残る夜になりました。

最終日は、あんなに短い期間でみんなと深い絆を築くことができ、すごいと思いました。帰る前にハグしたり、自分の国のお土産を交換したりしました。このコンボケーションを終えてたくさんの事を学びました。この経験をこれからの人生に生かしていきたいと思いました。



